



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月7日

上場会社名 株式会社立花エレテック 上場取引所 東
コード番号 8159 URL <https://www.tachibana.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布山尚伸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門担当 (氏名) 松浦良典 (TEL) 06-6539-2718
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	55,880	9.4	2,750	28.9	3,310	14.1	2,247	9.1
2023年3月期第1四半期	51,080	17.9	2,133	68.2	2,902	96.0	2,060	104.5

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 3,798百万円(70.0%) 2023年3月期第1四半期 2,234百万円(95.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 90.55	円 銭 —
2023年3月期第1四半期	82.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第1四半期	百万円 159,360	百万円 85,336	% 53.5
2023年3月期	153,635	84,641	55.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 85,336百万円 2023年3月期 84,641百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 90.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	223,000	△1.9	9,500	△7.9	10,000	△9.1	7,000	△10.7	282.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	25,025,242株	2023年3月期	25,025,242株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	683,780株	2023年3月期	46,921株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	24,819,077株	2023年3月期1Q	24,978,344株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和により、経済活動の再開が進み、個人消費や設備投資の持ち直しが見られる一方で、ウクライナ情勢の長期化、エネルギーや資源価格高騰の長期化、為替相場の変動や物価上昇の影響等、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況下にあつて、当社企業グループは、中長期経営計画「NEW C.C. J2200」が3年目を迎え、来るべき未来社会に選ばれる技術商社として、ロボットやM2M技術を活用した工場の自動化、省人化ニーズへのシステム対応や3Dプリンターによる新しいものづくり技術の普及に向け引き続き取り組むと共に、当社企業グループの高い技術力を発信する場として世界最大級の食品製造総合展「FOOMA JAPAN 2023」や「関西物流展」に出展し、お客様の現場の課題解決に向けた活動に注力いたしました。経営面では利益生産性の向上を図るべくデジタル化を推し進めて業務の合理化・効率化にも取り組んでおります。また、製品の納期が長期化する中で在庫の確保・拡充に取り組むとともに、お客様の需要動向を的確に捉えた販売活動に引き続き注力してまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高558億80百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益27億50百万円（前年同期比28.9%増）、経常利益33億10百万円（前年同期比14.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益22億47百万円（前年同期比9.1%増）の結果となりました。

セグメント別については以下のとおりであります。

〔FAシステム事業〕

売上高：293億49百万円（前年同期比19.7%増）、営業利益：15億84百万円（前年同期比68.1%増）

FA機器分野では、半導体製造装置関連や物流関連等の設備投資に多少の不服感は見られるものの、依然旺盛な受注残に支えられ、プログラマブルコントローラー、インバーター、ACサーボが大きく増加するとともに、低圧配電制御機器も好調に推移しました。産業機械分野では、レーザー加工機が大きく伸びました。産業デバイスコンポーネント分野では、子会社で表示器や産業用PC等の販売が好調に推移しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比19.7%の増加となりました。

〔半導体デバイス事業〕

売上高：213億43百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益：12億1百万円（前年同期比1.2%減）

半導体デバイス事業では、メーカーによる製品供給の回復と旺盛な需要を受けてパワー半導体は大幅に増加しました。マイコン及びロジックICは前年並みで推移しました。また、海外においては日系企業向けを中心に堅調な推移となりました。電子デバイス分野では、コネクタなどの接続部品が減少しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比0.8%の減少となりました。

〔施設事業〕

売上高：40億31百万円（前年同期比8.7%増）、営業損失：20百万円（前年同期は29百万円の損失）

施設事業では、前期に好調であったエコキュートや電気温水器等に不服感が見られたものの、リニューアル需要を受けてLED照明や物流倉庫関連に昇降機が増加するとともに、大型再開発案件向けなどに受配電設備が大幅増加しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比8.7%の増加となりました。

〔その他〕

売上高：11億55百万円（前年同期比13.7%減）、営業損失：15百万円（前年同期は4百万円の利益）

MMS分野では、立体駐車場向け金属部材は堅調ながらも部材の価格高騰と円安の影響から利益確保は厳しい状況でありました。EMS分野では、部材不足の影響を受ける中、家電向け液晶基板ビジネスが堅調に推移しました。

その結果、その他事業全体の売上高は、前年同期比13.7%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて57億25百万円増加の1,593億60百万円となりました。この主な要因は、棚卸資産の増加50億28百万円によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて50億30百万円増加の740億24百万円となりました。この主な要因は、短期借入金の増加76億45百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6億94百万円増加の853億36百万円となりました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加15億14百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月11日に公表いたしました業績予想を据え置いております。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,596	12,068
受取手形、売掛金及び契約資産	74,428	72,866
棚卸資産	34,010	39,038
その他	4,553	4,228
貸倒引当金	△65	△63
流動資産合計	124,523	128,138
固定資産		
有形固定資産	5,474	5,471
無形固定資産	649	700
投資その他の資産		
投資有価証券	20,675	22,750
退職給付に係る資産	1,205	1,204
その他	1,186	1,172
貸倒引当金	△80	△76
投資その他の資産合計	22,987	25,049
固定資産合計	29,112	31,222
資産合計	153,635	159,360
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,833	48,657
短期借入金	6,792	14,438
未払法人税等	2,288	975
賞与引当金	1,695	865
その他	5,219	5,232
流動負債合計	65,829	70,169
固定負債		
長期借入金	89	83
退職給付に係る負債	616	615
その他	2,459	3,155
固定負債合計	3,165	3,854
負債合計	68,994	74,024

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,874	5,874
資本剰余金	6,146	6,146
利益剰余金	65,057	66,056
自己株式	△58	△1,912
株主資本合計	77,020	76,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,716	7,230
繰延ヘッジ損益	△1	3
為替換算調整勘定	1,469	1,528
退職給付に係る調整累計額	435	408
その他の包括利益累計額合計	7,620	9,171
純資産合計	84,641	85,336
負債純資産合計	153,635	159,360

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	51,080	55,880
売上原価	44,131	48,020
売上総利益	6,948	7,859
販売費及び一般管理費	4,815	5,108
営業利益	2,133	2,750
営業外収益		
受取利息	20	17
受取配当金	172	188
為替差益	531	368
その他	63	40
営業外収益合計	788	615
営業外費用		
支払利息	9	13
自己株式取得費用	—	35
その他	9	6
営業外費用合計	19	55
経常利益	2,902	3,310
税金等調整前四半期純利益	2,902	3,310
法人税等	842	1,063
四半期純利益	2,060	2,247
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,060	2,247

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
四半期純利益	2,060	2,247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△240	1,514
繰延ヘッジ損益	△0	5
為替換算調整勘定	439	58
退職給付に係る調整額	△25	△27
その他の包括利益合計	173	1,550
四半期包括利益	2,234	3,798
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,234	3,798
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月5日開催の取締役会決議に基づき、自己株式636,700株の取得を行っております。当該自己株式の取得等により、当第1四半期連結累計期間において自己株式が18億54百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が19億12百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
日本	23,636	13,730	3,709	41,076	1,154	42,231	—	42,231
アジア他	885	7,778	—	8,663	185	8,848	—	8,848
顧客との契約から 生じる収益	24,522	21,509	3,709	49,740	1,339	51,080	—	51,080
外部顧客への売上高	24,522	21,509	3,709	49,740	1,339	51,080	—	51,080
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	24,522	21,509	3,709	49,740	1,339	51,080	—	51,080
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	942	1,215	△29	2,129	4	2,133	—	2,133

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
日本	28,221	13,857	4,031	46,110	1,118	47,228	—	47,228
アジア他	1,128	7,486	—	8,614	37	8,651	—	8,651
顧客との契約から 生じる収益	29,349	21,343	4,031	54,724	1,155	55,880	—	55,880
外部顧客への売上高	29,349	21,343	4,031	54,724	1,155	55,880	—	55,880
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	29,349	21,343	4,031	54,724	1,155	55,880	—	55,880
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	1,584	1,201	△20	2,765	△15	2,750	—	2,750

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。